~創業10周年!! 会員の皆様に感謝!! 感謝!!~ 2024年の超注カポイントとは?

グローバルアミューズメント株式会社 代表取締役 青山 真将樹

Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。 企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。 2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の

「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして 突出した存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に 特化した、コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。 現在、ホール&メーカー双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者



皆様、こんにちは。グローバルアミューズメント株式会社 代表取締役 青山真将樹です。さてさて、1年3カ月振りのFAX記事の配信です。なぜなら、GA社は本日、

創業10周年!! 感謝の気持ちをお伝えするために多数のご要望を

頂いておりましたFAX記事を再開させて頂くこととしました!! 会員の皆様に感謝・感謝の創業10周年記念号です。よろしくお願い申し上げます。

■2024年 パチンコ営業の超留意点!!

皆様、来年のパチンコ営業について以下3点を頭に叩き込んでください。

- ¦①パチンコの内規変更は3月、夏前(噂)という話し。 ! 機械代は「春先・夏前は場合によっては勝負!!」という予算組が〇
- ②LT(ラッキートリガー)機種のヒット機は最初の数機種から出てくると考える。初っ端のLT機種は様子見せず買え。
- ③LT機種は商品性の傾向から、利益バランスが改善された機械が多く出そう。3月のLT機種が根付きそうな雰囲気を感じたらパチンコ型店舗はLT機種の積極購入にシフトした方が良い。

さて、2024年のホール営業にとって最重要課題は**パチンコ部門の立て直し**だと考えます。私も登場前はさほど期待していなかった3**月のLT(ラッキートリガー)**機種ですが商品性の特性上、ここ数年間バカ甘で全く話にならない機械が多かったパチンコ新台の利益性能を「ホール・遊技者の双方にとって良いバランス」に改善してくれる可能性が高い機能だと考えます。(詳細は勉強会で述べました) LT機種ですが、現状、以下の3つに大別されると考えます。

- ①2WAYタイプ
- → 初回当たりでLT突入が判定されるタイプ
- ②二段階RUSHタイプ
- → 2回目当たりでLT突入が判定されるタイプ
- ③上位RUSHタイプ
- → 2回目以降の連荘中にLT突入が判定されるタイプ

3月機種でいえば、①はPオーバーロード、②はPアリア、③はPG1優駿倶楽部2などが 代表選手です。青山的には①の2WAYタイプはかなり注目しており、「パチンコの 本来の遊び方にマッチしているのでは?」と考えています。

3月はLT(ラッキートリガー) コーナーに全振りするぐらいのスタンスで取り組んで頂きたいと考えております。3月のLT機械がコケたらメーカーは機械投入を夏前の内規変更(e機に関する変更との噂)以降に集中させるので、前半戦のパチンコ部門はさほど大振りする機械は出ないと想定しています。3月は私的にはここ数年のパチンコ規則変更の中で最も可能性を感じる内規変更です。来年のホール営業を良い流れに向ける潮目になる可能性がかなりあると考えますので、

最後までお読み頂きありがとうございました。2024年もガンバロー!!

皆様、ぜひ、2024年のホール営業のポイントとしてご留意くださいませ。

GA社はお蔭様で創業10周年を迎えることができました。2024年も精進して参ります。会員の皆様、引き続きよろしくお願い申し上げます。